

一類義語・対義語・多義語を理解しよう！ 教科書 p.61,62 マーク p.29)

1 次の () () に適する言葉を、後の《 》から選んで書こう。

① 「端」「隅」「」 () のように、似た意味をもつ語のグループを () () という。

② 「上」と「下」、「表」と「」 ()、「貸す」と「」 () のように、意味が反対の関係や対の関係にある二語を () () という。

③ 「」 () という語には、「金額が大きい。」「音量が大きい。」「他のものより位置が上である。」「などの意味がある。このように、一つの語で多くの意味や用法をもつ語を () () という。

《 縁 借りる 裏 高い 対義語 多義語 類義語 》

2 次の [] にA・Bの語をそれぞれ入れるとき、文の内容と合う場合は○を、合わない場合は×を () () に書こう。

① ア本を [] 。 A 閉める () B 閉じる ()
イ蓋を [] 。 A 閉める () B 閉じる ()

② ア時が [] 。 A 流れる () B 過ぎる ()
イ川の水が [] 。 A 流れる () B 過ぎる ()

③ ア [] 現実を直視する。 A 激しい () B 激しい ()
イ人の出入りが [] 。 A 激しい () B 激しい ()

④ イ [] 期待を抱く。 A あわい () B 薄い ()
ア [] 色の花びら。 A あわい () B 薄い ()

3 次の () () に入る漢字を後の《 》から選び、対義語を作ろう。

① 以前↓以 () () ② 発信↓ () () 信 ③ 軽視↓ () () 視

④ 悲観↓ () () 観 ⑤ 革新↑保 () () ⑥ 勝利↓ () () 北

⑦ 許可↓ () () 止 ⑧ 困難↓容 () () ⑨ 具体↓ () () 象

《 守 重 禁 易 抽 後 受 楽 敗 》

4 「うまい」の類義語・対義語のうち、次の指示に当てはまる語を後の《 》から一つずつ選び、() () に書こう。

① 「味」という観点の類義語 () ()

② 「味」という観点の対義語 () ()

③ 「腕前」という観点の類義語 () ()

④ 「腕前」という観点の対義語 () ()

《 上手だ おいしい まずい 下手だ 》

5 次の語の類義語を後から選び、() に書こう。

① 欠点	()	② 改善	()	③ 永遠	()
④ 準備	()	⑤ 簡単	()	⑥ 著名	()
⑦ 気質	()	⑧ 協調	()	⑨ 任務	()
⑩ 音信	()	⑪ 駆ける	()	⑫ 案外	()
⑬ 天然	()	⑭ 突然	()	⑮ 将来	()
⑯ 光る	()	⑰ 手段	()	⑱ 名人	()
⑲ 慣れる	()	⑳ 発展	()		

6 次の語の対義語を後から選び、() に書こう。

意外	単純	達人	短所	なじむ	進展	輝く	方法	未来	調和
改良	永久	用意	自然	性格	役目	消息	走る	不意	有名

① 形式	()	② 薄い	()	③ 平和	()
④ 生産	()	⑤ 横断	()	⑥ 明るい	()
⑦ 個人	()	⑧ 解散	()	⑨ 過去	()
⑩ 原因	()	⑪ 信じる	()	⑫ 開会	()
⑬ 自立	()	⑭ 満足	()	⑮ 遠い	()
⑯ 就寝	()	⑰ 晴天	()	⑱ 弱い	()
⑲ 理想	()	⑳ 有限	()		

7 次の各文での線の言葉の意味として合うものを下から選び、線で結ぼう。

① ア 手と手を握る。	・ a 方法や手段。
イ 大雨が行く手をはばむ。	・ b 方向や方面。
ウ 部屋の掃除に手を貸す。	・ c 手首から指先の部分。
② ア 新人に期待を寄せる。	・ a 一か所に集める。
イ 椅子を机に寄せる。	・ b ある物のそばに近づける。
ウ 紙くずを隅に寄せる。	・ c 人や物に対してある気持ちをもつ。
③ ア 靴が緩い。	・ a 厳しくない。
イ ルールが緩い。	・ b すき間などがあってしまっていない。
ウ 川の流れが緩い。	・ c 勢いが弱い。ゆっくりしている。

※ワークp.29の問題に取り組んでみよう！

一類義語・対義語・多義語を理解しよう！

教科書 p.61,62 マーク p.29

1 次の () に適する言葉を、後の《 》から選んで書こう。

- ① 「端」「隅」「縁」のように、似た意味をもつ語のグループを (類義語) という。
- ② 「上」と「下」、「表」と「裏」、「貸す」と「借りる」のように、意味が反対の関係や対の関係にある二語を (対義語) という。

- ③ 「高い」という語には、「金額が大きい」「音量が大きい」「他のものより位置が上である。」などの意味がある。このように、一つの語で多くの意味や用法をもつ語を (多義語) という。

《縁 借りる 裏 高い 対義語 多義語 類義語》

2 次の [] にA・Bの語をそれぞれ入れるとき、文の内容と合う場合は○を、合わない場合は×を () に書こう。

①	ア本を []。	A閉める () ×	B閉じる () ○
	イ蓋を []。	A閉める () ○	B閉じる () ○
	ア時が []。	A流れる () ○	B過ぎる () ○
②	イ川の水が []。	A流れる () ○	B過ぎる () ×
	ア [] 現実を直視する。	A激しい () ○	B激しい () ×
③	イ人の出入りが []。	A激しい () ×	B激しい () ○
	ア [] 色の花びら。	Aあわい () ○	B薄い () ○
④	イ [] 期待を抱く。	Aあわい () ○	B薄い () ×

3 次の () に入る漢字を後の《 》から選び、対義語を作ろう。

- ① 以前↓以 (後) ② 発信↓ (受) 信 ③ 軽視↓ (重) 視
- ④ 悲観↓ (楽) 観 ⑤ 革新↓保 (守) ⑥ 勝利↓ (敗) 北
- ⑦ 許可↓ (禁) 止 ⑧ 困難↓容 (易) ⑨ 具体↓ (抽) 象

《守 重 禁 易 抽 後 受 楽 敗》

4 「うまい」の類義語・対義語のうち、次の指示に当てはまる語を後の《 》から一つずつ選び、 () に書こう。

- ① 「味」という観点の類義語 () おいしい
- ② 「味」という観点の対義語 () まずい
- ③ 「腕前」という観点の類義語 () 上手だ
- ④ 「腕前」という観点の対義語 () 下手だ

《上手だ おいしい まずい 下手だ》

5 次の語の類義語を後から選び、() に書こう。

① 欠点	()	② 改善	()	③ 永遠	()	④ 永久	()
④ 準備	()	⑤ 簡単	()	⑥ 著名	()	⑦ 有名	()
⑦ 気質	()	⑧ 協調	()	⑨ 任務	()	⑩ 役目	()
⑩ 音信	()	⑪ 駆ける	()	⑫ 案外	()	⑬ 意外	()
⑬ 天然	()	⑭ 突然	()	⑮ 将来	()	⑯ 未来	()
⑯ 慣れる	()	⑰ 手段	()	⑱ 名人	()	⑲ 達人	()
⑲ 慣れる	()	⑳ 発展	()				
意外	単純	達人	短所	なじむ	進展	輝く	方法
改良	永久	用意	自然	性格	役目	消息	走る
							未来
							調和
							有名

6 次の語の対義語を後から選び、() に書こう。

① 形式	()	② 薄い	()	③ 平和	()	④ 戦争	()
④ 生産	()	⑤ 横断	()	⑥ 明るい	()	⑦ 暗い	()
⑦ 個人	()	⑧ 解散	()	⑨ 過去	()	⑩ 未来	()
⑩ 原因	()	⑪ 信じる	()	⑫ 開会	()	⑬ 閉会	()
⑬ 自立	()	⑭ 満足	()	⑮ 遠い	()	⑯ 近い	()
⑯ 就寝	()	⑰ 晴天	()	⑱ 弱い	()	⑲ 強い	()
⑲ 理想	()	⑳ 有限	()				
現実	未来	無限	縦断	消費	閉会	疑う	厚い
							結果
							不満
							雨天

7 次の各文での線の言葉の意味として合うものを下から選び、線で結ぼう。

① ア 手と手を握る。
イ 大雨が行く手をはばむ。
ウ 部屋の掃除に手を貸す。

② ア 新人に期待を寄せる。
イ 椅子を机に寄せる。
ウ 紙くずを隅に寄せる。

③ ア 靴が緩い。
イ ルールが緩い。
ウ 川の流れが緩い。

a 方法や手段。
b 方向や方面。
c 手首から指先の部分。

a 一か所に集める。
b ある物のそばに近づける。
c 人や物に対してある気持ちをもつ。

a 厳しくない。
b すき間などがあってしまっていない。
c 勢いが弱い。ゆっくりしている。

※ワークp.29の問題に取り組んでみよう！

4 次の文——線の言葉を、適切な敬語に直して（ ）に書こう。

- ① 今日、母の友人が遠方から来る。 ()
② 僕は中学生だ。 ()
③ 小林さんはよく旅行のお土産をくれる。 ()
④ 木村先生はお水を飲んだ。 ()
⑤ 「おじいさん、お荷物を持つとうか。」 ()
⑥ 授業で、貴重なお話を聞いた。 ()
⑦ 今日、私は山田さんのご自宅に行きます。 ()
⑧ 知人の家で、昼食を食べました。 ()
⑨ 会食に多くのお客様をよびます。 ()
⑩ たまたま、あなたの父とお会いしました。 ()

5 次のそれぞれの文を【例】のように、敬語を用いて適切な文に改めよう。

- 【例】佐藤さん、何を食べますか。
↓ 佐藤さん、何を召しあがりますか。
① お客様の要望に応えます。 ()
↓ ()
② 先生は、明日、何時に自宅を出発し、何時に戻りますか。 ()
↓ ()
③ 先生は、私のおじいさんに、「世話になった。」と言いました。 ()
↓ ()

6 次の文には、それぞれ適切でない部分がある。【例】のように、適切な文に改めよう。

- 【例】伊藤先生は私の絵を拝見した。
↓ 伊藤先生は私の絵をご覧になった。
① 私と妹は、先生からもらったお菓子をお食べになった。 ()
↓ ()
② 私のお母さんは、五時には公民館へいらっしやいます。 ()
↓ ()
③ 先生にお聞きなさいたいことがあるので、昼休み、職員室にいらっしやいます。 ()
↓ ()

※ワークp.74,75の問題にも取り組んでみよう！

二 敬語を理解しよう！

教科書 p.125～127) マーク p.74,75)

1 教科書を読み、敬語の種類について、次の()に適する言葉を書こう。

- ① 「……ます」「……です」のように、話し手(書き手)が聞き手(読み手)に対して敬意を表す敬語を(**丁寧語**)という。
- ② 「お話しになる」「いらっしゃる」のように、話題の中の動作・行為をする人に対して敬意を表す敬語を(**尊敬語**)という。
- ③ 「ご案内する」「いただく」のように、動作・行為が向かう先に対して敬意を表す敬語を(**謙讓語**)という。

2 次の——線の敬語は、丁寧語・尊敬語・謙讓語のうちのどれだろうか。()に書こう。

- ① 青木先生が私の描いた絵をご覧になる。(**尊敬語**)
- ② 集合時間は午前十時です。(**丁寧語**)
- ③ 鈴木先生のお写真を拝見する。(**謙讓語**)
- ④ 田中先生が窓をお開けになる。(**尊敬語**)
- ⑤ 上田さんを食事にお誘いする。(**謙讓語**)

3 次の表は尊敬語と謙讓語を示した一覧である。()には後の《 》から言葉を選び、へくには「お」「か」「ご」「を」「【】」には後の「」「」から漢字を選んで書こう。

動詞の場合		尊敬語	謙讓語
動詞全般に使える形	お(ご)くになる くれる・られる	お(ご)くする	
行く	いらっしゃる	参る・伺う	
来る	おいでになる	おる	
いる			
言う	おっしゃる	申す・申しあげる	
話す			
見る	ご覧になる	拝見する	
食べる	召しあがる	いただく	
する	なさる	いたす	
くれる	くださる		
もらう		いただく	
聞く		伺う・承る	
知る			
思う		存じる	

名詞の場合	尊敬語	謙讓語
名詞全般に付く形	(先生からの) へ お 手紙	(先生への) へ お 手紙
特定の名詞に付く形	・ 【芳】 意見 ・ 御社 ・ 【貴】 校 ・ 尊父	・ 【愚見】 ・ 【弊】 社 ・ 【拙】 著 ・ 粗品

《 》 いただく おっしゃる おいでのになる くださる 召しあがる
 申す・申しあげる いらっしゃる 《 》 「弊 貴 芳 拙」

4 次の——線の言葉を、適切な敬語に直して（ ）（ ）に書こう。

- ① 今日、母の友人が遠方から来る。 (いらっしゃる(おいでになる・おこしになる))
② 僕は中学生だ。 (です)
③ 小林さんはよく旅行のお土産をくれる。 (くださる)
④ 木村先生はお水を飲んだ。 (召しあがった)
⑤ 「おじいさん、お荷物を持つとうか。」 (お持ちしましょうか)
⑥ 授業で、貴重なお話を聞いた。 (伺った)
⑦ 今日、私は山田さんのご自宅に行きます。 (参ります(伺います))
⑧ 知人の家で、昼食を食べました。 (いただきました)
⑨ 会食に多くのお客様をよびます。 (およびます)
⑩ たまたま、あなたの父とお会いしました。 (尊父)

5 次のそれぞれの文を【例】のように、敬語を用いて適切な文に改めよう。

【例】佐藤さん、何を食べますか。

↓ 佐藤さん、何を召しあがりますか。

① お客様の要望に応えます。

↓ (お客様のご要望にお応えします。)

② 先生は、明日、何時に自宅を出発し、何時に戻りますか。

↓ (先生は、明日、何時にご自宅をご出発なさり、何時にお戻りですか。)

③ 先生は、私のおじいさんに、「世話になった。」と言いました。

↓ (先生は、私の祖父に、「お世話になりました。」とおっしゃいました。)

6 次の文には、それぞれ適切でない部分がある。【例】のように、適切な文に改めよう。

【例】伊藤先生は私の絵を拝見した。

↓ 伊藤先生は私の絵をご覧になった。

① 私と妹は、先生からもらったお菓子をお食べになった。

↓ (私と妹は、先生からいただいたお菓子を食べた。)

② 私のお母さんは、五時には公民館へいらつしやいます。

↓ (私の母は、五時には公民館へ参り(伺い)ます。)

③ 先生にお聞きなさいたいことがあるので、昼休み、職員室にいらつしやいます。

↓ (先生にお聞きしたいことがあるので、昼休み、職員室に参り(伺い)ます。)

※ワークp.74,75の問題にも取り組んでみよう！

三 方言と共通語について学習しよう！

教科書 p.216,217 > マーク p.133 <

・方言と共通語

- ① 語句・表現、文法、発音などに、地域ごとの特色が表れた言葉を () という。
② 日本全国、どの地域の人にも通用する言葉を () という。

問 次の方言(金沢弁)を共通語に直してみよう。

- | | | | |
|----------|-----|----------|-----|
| ① あいそんない | () | ⑥ ちゃべ | () |
| ② いじつかしい | () | ⑦ はがいしい | () |
| ③ かたがる | () | ⑧ やっきねー | () |
| ④ ごたむく | () | ⑨ ものい | () |
| ⑤ だちやかん | () | ⑩ いってちっし | () |

○ 右の問いのように、あなたの住んでいる地域で使われている方言を振り返り、方言による語句や表現をできるだけ挙げてみよう！

○ あなたの興味のある方言を、本やインターネットで調べて、あなたの住んでいる地域で使われている方言や共通語と比較してみよう！

- 調べた方言…… () 地方の方言
○ あなたの住んでいる地域で使われている方言や共通語との比較

※ワーク p.133 の問題にも取り組んでみよう！

三 方言と共通語について学習しよう！

教科書 p.216,217 > ワーク p.133 >

・方言と共通語

- ① 語句・表現、文法、発音などに、地域ごとの特色が表れた言葉を (方言) という。
② 日本全国、どの地域の人にも通用する言葉を (共通語) という。

問 次の方言(金沢弁)を共通語に直してみよう。

- ① あいそんない (つまらない、さびしい) ⑥ ちゃぐ (おしゃべり)
② いじつかしい (うつとおしい、うるさい) ⑦ はがいしい (悔しい)
③ かたがる (傾く) ⑧ やっきねー (やる気がない)
④ ごたむく (理屈を言う、文句を言う) ⑨ ものい (体がだるい、具合が悪い)
⑤ だちゃかん (だめだ) ⑩ いってらっし(いってらっしやい)

○右の問いのように、あなたの住んでいる地域で使われている方言を振り返り、方言による語句や表現をできるだけ挙げてみよう！

Blank box for writing dialect examples.

○あなたの興味のある方言を、本やインターネットで調べて、あなたの住んでいる地域で使われている方言や共通語と比較してみよう！

- 調べた方言…… () () 地方の方言
○あなたの住んでいる地域で使われている方言や共通語との比較

Blank box for writing dialect research notes.

※ワークp.133の問題にも取り組んでみよう！